

製品名: Ob-R (リン酸化 Tyr1141) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab05132**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	132kDa

抗原情報

遺伝子名	LEPR OBR
別名	LEPR; DB; OBR; Leptin receptor; LEP-R; HuB219; OB receptor; OB-R; CD antigen CD295
遺伝子 ID	3953.0
SwissProt ID	P48357
免疫原	ヒト Ob-R のリン酸化部位 (リン酸化 Tyr1141) 周辺の合成リン酸化ペプチド

背景

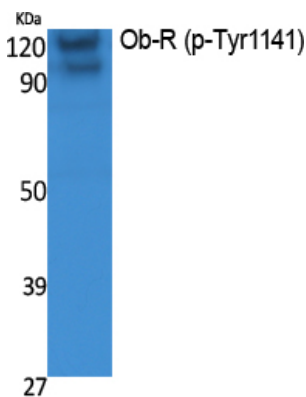
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞質 STAT タンパク質の活性化を介して遺伝子転写を刺激することが知られているサイトカイン受容体 gp130 ファミリーに属します。このタンパク質は、レプチン（体重を調節する脂肪細胞特異的ホルモン）の受容

体であり、脂肪代謝の調節、および正常なリンパ球産生に必要な新規造血経路に関与しています。この遺伝子の変異は、肥満および下垂体機能不全と関連付けられています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。注目すべきことに、この遺伝子と LEPROT 遺伝子 (GeneID:54741) は同じプロモーターおよび最初の 2 つのエクソンを共有していますが、異なるタンパク質をコードしています (PMID:9207021)。[RefSeq 提供、2010 年 11 月],domain:ボックス 1 モチーフは、JAK の相互作用および/または活性化に必要です。 ,domain:細胞質ドメインは、JAK チロシン キナーゼおよび STAT の活性化による細胞内シグナル伝達に必須である可能性があります。 ,domain:WSXWS モチーフは、適切なタンパク質フォールディング、ひいては効率的な細胞内輸送および細胞表面受容体結合に必要と思われます。 ,function:肥満因子 (レプチン) の受容体。リガンド結合により、JAK2/STAT3 を介したシグナル伝達を媒介します。脂肪代謝の調節に関与し、造血経路では正常なリンパ球生成に必要です。生殖において役割を果たす可能性があります。 ERK/FOS シグナル伝達経路も媒介します。 ,PTM:リガンド結合時に、JAK2によって2つの保存されたC末端チロシン残基 (アイソフォーム B のみ) がリン酸化されます。 Tyr-986 は、PTPN11 の完全な結合と活性化、ERK/FOS の活性化、および SOCS3 との相互作用に必要です (類似性による)。 Tyr-1141 のリン酸化は、STAT3 の結合/活性化に必要です。 ,類似性:I 型サイトカイン受容体ファミリーに属します。タイプ 2 サブファミリー。 ,類似性:1 つの Ig 様 (免疫グロブリン様) ドメインを含みます。 ,類似性:4 つのフィブロネクチン III 型ドメインを含みます。 ,サブユニット:レプチン刺激により、ホモ二量体を形成します。 SOCS3 との相互作用は LRb シグナル伝達を阻害する。 ,組織特異性: アイソフォーム A は胎児肝臓、造血組織、脈絡叢に発現する。成人では心臓、肝臓、小腸、前立腺、卵巣で最も高い発現を示す。肺と腎臓では低い発現を示す。アイソフォーム B は視床下部で高い発現を示す。 ,

研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;神経活性リガンド-受容体相互作用;Jak_STAT;アディポサイトカイン;

画像データ



Phospho-Ob-R (Y1141) ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。